

団体名	秋田地域留学生等交流推進会議						
事業名	第三の故郷を見つける農家民泊2019						
実施期間	令和1年11月9日～10日および令和1年12月21日						
場 所	仙北市西木町						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	43	2	12	14	8		79名

### <実施内容>

「第三の故郷を見つける農家民泊」と題し、留学生の出身地、秋田県内での勉学・生活の地に加え仙北市西木町を第三の故郷として見つけ出してもらうことを目標としたツアーで、今年度で開催11年を迎えました。秋田県内の留学生や日本人学生と地域農家の方々がグリーン・ツーリズムを通じて交流を深めました。

この事業では、二回の農業体験プログラム(農業体験ツアー、収穫感謝祭ツアー)を実施しました。11月9日-11日の農業体験ツアーでは各農家に分かれて、農作業と民泊を体験しました。ツアー1日目は、農家ごとに薪運び、きりたんぼ作り、野菜の収穫、収穫した野菜での料理作りなど、地域性と各農家の特色を生かした体験が行われました。ツアー2日目は、参加者全員が一堂に会し、各農家で作った料理を持ち寄っての食事会と1日目の振り返りを行いました。

12月21日の収穫感謝祭ツアーでは、笹の葉餅作りや餅つき体験とともに、農業体験ツアーで撮影した写真を使い、グループごとにアルバム作成を行いました。作成したアルバムは農家の方へプレゼントとして贈りました。普段の学生生活では体験することのできない農家での体験や地域の人々との交流は留学生・日本人学生ともに満足感が高く、意義深い行事であったとの声が多く聞かれました。

### <記録写真>



柿の収穫



囲炉裏体験



薪割り作業体験

### <参加者からのコメント>

バットバートルカネンベルグ プレブヒシグさん(モンゴル)  
/Purevkhishig Batbaatar

馮 明子涵さん(中国)/Feng Mingzihan

There has been a set of two trips in this semester at Akita University, with the intention to make the students meet in different settings with students from other universities. Groups were formed in a way that each group contained students from every participating university. As both trips were organized by all universities together, the same groups were together in both trips again. In general it can be said that the set of two trips was a great experience to meet new people in a relaxed atmosphere.

今回の交流事業では、星雪館の皆様にお世話になり、楽しい2日間を送れた。一班の皆はそれぞれ中国、シンガポール、タイ、モンゴル、アルゼンチンから訪れた。出身地が違うにもかかわらず、皆日本語が上手いし、気が合うため、仲良く順調に交流を進められた。大根掘りの作業が終わった後、みんな少し自由に散歩しながら、豊かな自然を楽しんだ。紅葉が半分咲き半分散っていたが目の前の景色は全て真っ赤に染まっていた。雪で湿っているなめこがチカチカと太陽の光線を反射している。巨大な樹木が日差しを遮り、かすかな木陰を作る。これらは全部秋田に来てからこそその自然風景だ。12月21日に、やっとふじさんと再会した。相変わらず元気そうで、今回もニコニコ微笑みながらみんなと話した。グループメンバーのみんなも久しぶりに揃って、チームワークで、前回のことについて話しながら、アルバムを作った。たったの二日間でも、「お富士さん」も「じじ」も色々なことを教えてくれて、短い期間で深い絆を結べた。